

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なごなるの家 (児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	2025年2月 10日 ~ 2025年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2025年 2月 6日 ~ 2025年2月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが自由に活動するのに十分なスペースがある	量の部屋、一人になれる部屋など、その子に合わせた活動場所を提供している	利用者が多い日など、フロアが手狭になる日もあるので、ケガのないよう充分留意していく
2	保護者の要望に対し、柔軟な対応がしやすい	契約時に、可能な範囲で本人やご家族の思いや意向をお聞きし、一緒に目標を立てている。利用開始後は、保護者との情報交換により、適宜修正、更新している 個々のニーズに合わせ、細かな希望に対して、スタッフ間で情報共有し、対応している	保育所や他のサービス関係者等と一緒に情報共有できる仕組みがあればよいと思うので、関係機関に呼びかけていきたい (例えば、トイレトレーニングや食事の器具の使い方、昼寝時間など家族や関係機関と目標が共有できたらいいと考えている)
3	保護者との情報交換ができる体制がある	利用開始後は、送迎時の保護者さんへの声掛け、連絡帳、電話等で情報交換を積極的に行っている	子どもの成長に合わせた対応について、積極的に新たな情報を取り入れたり、提供したりしていく 家族や関係機関と連携して、支援していきたい
4	スタッフ間の情報共有・意見交換がこまめにできている	日々のミーティングやミーティングノート(シフトの関係で、その場にはいない人にも知らせるための記録)で意見交換を行っている 課題が見つければ、すぐに改善策を話し合っている	ミーティングに参加していなかった時の記録に対して、確認するとともに、意見を伝えていくようにする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ間の日々の振り返りはできているが、定期的(モニタリング・個別支援計画作成時など)な振り返りに時間を持っていない	アセスメントや目標設定は、主に担当者がしている 課題が生じた場合の対応は共有しているが、計画に対する振り返りの共有ができていない	スタッフ間で、目標を考えたり、振り返りを次回の個別支援計画に生かすことができるよう情報交換・意見交換をする時間がとれるよう努めていく
2	活動プログラムが固定化しがちである	日々の活動に追われ、新たなプログラムを取り入れる余裕がない	活動プログラムのバリエーションを増やしやすいよう、紹介された書籍や動画などを活用していく
3	父母の会・保護者会が実施できていない	共生型で様々な利用者がおられて、それぞれのニーズが異なるため、課題を共有する父母の会・保護者会を開催できない	当事業所内に限定せず、地域で開催される保護者が参加できるイベントをお知らせしていく